

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

200号

2018年4月29日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 観光立国とは

相変わらず水面下で進行中の都心低空飛行問題ですが、マスコミがくだらない大衆迎合ばかりしていて、こういう大問題を取り上げないのは不思議です。

観光の意義について「観光立国推進法」では「観光は国際平和と国民生活の安定を象徴するものであって、その持続的な発展は、恒久の平和と国際社会の相互理解の増進を念願し、健康で文化的な生活を享受しようとする我らの理想とするところである。」と述べられています。

では、都民の頭上を滑走路の延長に使うのは、「我らの理想」なのでしょうか？

○ 1・2丁目町会事務所の建て替え

常盤台が分譲された時、東武鉄道によって住民の為の集会所が提供されていました。弘文会館という名で、庭付きの一戸建てでした。

今は縮小されていますが住民の財産であることに変わりはありません。建て替え案についての話し合いが4月22日にあり、6月2日2時からの総会でも話し合いがあるそうです。

○ 「まちづくりニュース」200号 記念出版

この「まちづくりニュース」は2003年に始められ今号で200号になりました。それを記念して、一冊として出版することになりました。

この15年の常盤台を振り返るよい資料になると思います。ただ、計画が突然浮上してきたので、実際には今年中に出来ればよいぐらいの進行です。ご希望の方には1部1000円位でお分けするつもりです。詳細はまた。

○ 「武蔵常盤」駅（現ときわ台駅） 開業記念スタンプ

下のスタンプは、1935年10月に開業した「武蔵常盤」駅の記念スタンプです。今は東向島の東武博物館に展示されています。

左からの横文字で「武蔵常盤駅」と書いてあるのと、分譲地の区画がデザインされているのが興味深いと思います。



改装中のときわ台駅はそろそろ顔が見えてきて、完成間近の趣です。ところで軒下の波形模様のある部分は、以前は瓦と同じ青だったと思いますが、今はうすみどり色で、ちょっと違和感があります。

○ 新中央図書館についての話し合い

時 5月1日 6:30~8:30

所 常盤台地域センター（上板橋の平和公園そば、教育科学館裏）

平和公園の何本かの樹には移植・伐採の印が既に付けられています。

常盤台公園の跡地については、担当部署で保留になっているようですが、4月からの改変で、どう言う部署かはわからないとのこと。図書館長が異動で交替しました。

この人にインタビュー（4）

— 常盤台設計者の子孫 —

小宮賢一といえば常盤台住宅地に関心を持つ人なら誰でも知っている内務省の役人で、この街を設計した人です。なんと近くの東新町にお孫さんが住んでいらつしやることが解り、二〇〇号記念にインタビューを試みました。

— 小宮賢一について自費出版なさったとか。
・妻郁子と共に祖父の論文などを調べ、「小宮賢一—その生涯」という本にまとめました。常盤台との関係よりも建築基準法作成者としての祖父や家族としての賢一に重点を置いたものです。

— お爺さん小宮賢一はどういう人でしたか
・仙人のような、威張らず怒らずの優しいおじいちゃん、よく遊んでくれました。お葬式で大勢の人がお焼香に来られて、はじめて祖父の価値を知りました。

— 東新町にお住まいの動機は？

・3・11で住んでいたマンションにひびが入り、どうせ越すなら祖父と縁のある常盤台の近くと思い、六年前に越して来ました。

— 晩年の賢一の生活は？

・折り紙を工夫したり、「しもいつや」「マツムラムシマル」など、縦・横に読んでも同じ語を考案したりしていました。

— 賢一の遺伝子は？

・亡くなった父（賢一の長男）が建築関係でまちづくりを仕事にしていますが、孫の私はIT関係の仕事をしています。

小宮一穂さんに接触できたのは、偶然「一家がお子さんのためにおもちや屋さんを覗いて、フジヤさんと話をしたのがきっかけでした。この出会いが無ければ、八十年を経て小宮賢一とのつながりは断たれていたままだったでしょう。今後は常盤台についても調べていきたいそうです。

セクハラ発言続く

財務省の福田次官のセクハラ発言に端を発して、政府高官のお粗末なセクハラ発言がひっきりなしに出てくる。麻生・下村氏と、安倍首相のお友達が多いのはなぜだろう。不適当だったと謝罪し、撤回すれば許されるものではない。そういう価値観の持ち主であり、そう言う人間なのだ。有権者は誰がどんな発言をしたかを記憶しておくなければならない。

情けないが日本は男性優位社会を脱していない。平等に働いている、と否定する女性もたまに居るが、自分が特殊であることを認識していないだけだ。この長い伝統・文化のある部分では否定し、改革しない限り、日本が近代化されたとは言えない。今の社会に埋没して満足している男性は（女性も）、被害者に対して想像力が欠如していることを反省しよう。その反省無くして「女性が輝く」などということはありえない。

訂正

前号で立小便の記事を出しましたが、当人は区役所の職員ではなく、工事に伴う警備員でした。土木課から苦情が来たわけではありませんが、区職員の名誉を汚してしまい申し訳ありません。

常盤台公園のはなづくり

ちょっと気を抜くとヤブカラシがのさばってしまいます。しつこく根を張っていて、地表にでている蔓はやわらかくて直ぐ切れてしまい、本体は次ぎに芽を出す機会を狙っているという、トカゲの尻尾切りみたいな策を持つているヤツ（つい荒っぽい言葉になりますが）なのです。ヤブカラシとは南北朝鮮両国のように歴史的な握手はできません。花壇ではチューリップが終わり、フジやツジ・バラまで咲いて、最近どの花も半月は早く咲くようになりました。

一九八号のこの欄で、プロムナードを散歩するお年寄りのために、ベンチを置いてはどうかと提案しましたが、さっそく、

縁石に休憩場所をとのご提案がありましたが最近並木道を通る車も速度を上げているので、並木道の途中で座ると言う行為は危ないと思います。

それよりは先ずは並木道での車の速度制限をかけるべきだと思いますが・・・
と言うご意見を頂きました。

常盤台全体が住宅地なので、車両は三〇キロの速度表記がされているように思いますが、詳しいことはわかりません。どなたかご存じでしたらご意見ください。